

こしき岩会だより

新キャンパス風景



総合案内板



学生会室



コンビニ



短大専用校舎



短大校舎階段



幼児美術実習室



6月23日のオープンキャンパス風景



入口



食堂



学生説明風景



受付



夙川学院短期大学
「こしき岩会」

〒662-0027 西宮市神園町2-20

FAX: 0798-70-9100

E-mail: koshiki@shukugawa-c.ac.jp

URL: <http://www.shukugawa-c.ac.jp>

会長あいさつ



会長 松伏 純子

昨年、最後となる慣れ親しんだ西宮市の甌岩キャンパスで開催しました「こしき岩会総会・懇親会」から、早や、1年余りが過ぎ去ろうとしております。

皆様には、お健やかに過ごさしめの事とお喜び申し上げます。今年3月にポートアイランドキャンパス移転後、初めて「こしき岩会だより」臨時号です。

本来は2年に一度の発行ですが、同窓生の皆様方に、少しでも早く生まれ変わった短期大学の様子をお伝えしたいと、新天地での母校の発展を願う熱い思いを込め、臨時号を発行させて頂きました。どうか皆様、隅から隅まで読んでいただければ、嬉しく思います。

移転先の母校は、素敵な環境の中に在ります。周りには広大な海があり、大きな船の往来が見られます。北には、六甲の山並みが見えます。8月に神戸市が開催する花火大会は、絶好の眺めが観られたのではないのでしょうか。

今年から、男女共学となり早速男子学生の入学もありましたことは短大はもとよりこしき岩会の将来にとって大変喜ばしい事と思っております。

オープンキャンパスや10月13日(日)と14日(月)の両日には、大学祭が開催されます。同窓会も10月13日(日)にバザーを催します。こしき岩でのバザーと同様に皆様とお会い出来る事を楽しみにしております。

この機会にポートアイランドキャンパスの見学をして頂ければと願っております。是非、足をお運び下さい。お待ちしております。そして、これからも、同窓生の皆様には、積極的に行事に参加して頂けます事を心から願っております。

学長あいさつ



学長 松井 道男

「こしき岩会」のご理解と支えのおかげで、皆様の母校はポートアイランドキャンパスでもう一つの歴史を歩み始めました。感謝です！

この十年ほど、全国の短大に遠慮なく吹き付けてきた逆風を乗り越えるために苦渋の選択を行い、組織改革、カリキュラム改革を断行してきました。最近では平成23年、家政学科(ファッション専攻・食物栄養専攻)、美術・デザイン学科、専攻科(美術・デザイン専攻)の募集を停止しました。そして本年(平成25年度)に専攻科(保育専攻)の募集停止を行うと同時に、4月からは児童教育学科(入学定員100名)の男女共学の単科短大として神戸市にある神戸夙川学院大学キャンパス(ポートアイランドキャンパスと呼びます)で再出発しました。多くの短大が廃校の道をたどる中で移転再出発はまるで不死鳥のごとくだと関係各位やメディアから注目され暖かい激励をたくさん頂戴しました。お蔭様で学生募集も順調で、本年度は皆様の後輩110名を迎えることが出来ました。また来年度(平成26年度)に向けた学生募集も大変好調です。オープンキャンパスの参加者の数も昨年度の数の2倍に迫る勢いです。

このように再出発が首尾よく軌道に乗れたのも「こしき岩会」の深いご理解と支えがあったからです。こしき岩会と短大は一体であるということは認識していましたが、この数年の激動する歩みの中でこの一体感を本当に実感しました。今回の再出発は「こしき岩会」があつて初めて可能になったと断言できます。

もちろん今回の移転が長い歴史の第一歩になるためにはいくつかの課題を克服しなくてはなりません。保育士

ております。なお、同窓会室は、短期大学の移転時に一時的に高等学校内に置きましたが、再度ポートアイランド校内に引越し新しいスタートを切ります。今後ともご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



同窓会室

「同窓会からの寄付」について「の経過報告

前回の会報で「松井学長に寄付は短大のために活用されることを前提に行うことを伝え、また、どのように活用されたかはご報告を頂くことを条件にお渡しいたします。」と皆様にお伝えしてから一年が経ちました。

本来であれば、この臨時号において寄付の活用状況をご報告させて頂かなければなりません、結論から申し上げますと、寄付は現在お渡し出来ていません。従いまして、今回はその経緯についてご報告をさせて頂きます。条件付きで寄付を行う事を松井学長にお伝えしてから、学校側と役員会とで寄付の活用について話し合いました。

学校側から現1回生のポートアイランドキャンパスへの送迎用バスの購入希望案が出されました。スクールバス資格、幼稚園教諭免許、小学校教諭免許の3つの資格・免許が取得できることがわが校の特色の一つです。従来通り素晴らしい保育士、幼稚園教諭を社会に送り出すという伝統は当然維持しますが、小学校にたくさん素晴らしい教育者を送り出すことこそ私たちが今後取り組んでいかなくてはいけない大きな課題の一つだと思います。美しい山林の中に佇んでいたこしき岩キャンパスと好対照で、新キャンパスの新しい短大棟は神戸港の対岸から数十メートルのところにあります。神戸が誇るハーバーランドの美しい夜景を眼の前に独り占めできるところにあります。ぜひ一度お越し下さい。先輩方のご来学は学生、教職員にとってこれほど大きな激励はありません。皆様の母校、夙川学院短期大学は「こしき岩会」との二入三脚で今後大きく飛翔します。

学科長あいさつ

甌岩からポートアイランドに

児童教育学科長 小林 伸雄

住み慣れた甌岩の地から、ここポートアイランドに移転が決まった時は、本当にショックで、できれば甌岩から離れたくないとの思いで一杯であった。まず、緑に囲まれ眺望抜群の山の中腹から、海のまつただ中といってもよいポーツアイへ移る訳だから、環境の激変に対する違和感が大きかったことである。前年度オープンキャンパスや会議などでポーツアイを訪れる回数が増えたが、今ひとつここで仕事をやるのだという実感が持てず、自分の学校だという感覚がなかなか生まれなかった。

次に、移転準備が面倒である。教室や物置として使っていたスペースの数も面積も減少するので、持って行けるものを選別しなければならぬ。すべての物に思い出と愛着がしみ込んでいる。しかし、甌岩での永い日々を思い出しながらの選別作業は遅々として進まず、何度甌岩の中の身を切られる思いで持つて行くのを諦めた物

スがあれば学生の送迎以外にも何かと利用出来、学校名を入れる事により、走る宣伝にもなるので有効活用が出来るかと判断しました。

その後、バスを購入した場合とリースした場合のメリット、デメリットを比較する為に、見積書の提出を学校側に依頼し検討しました。購入でもリースにしても、その後の維持管理費等が発生して学校側の負担になるなどの問題点もあり、他の活用用途についても検討を重ねました。

平成25年1月に学校側から、短大生に支給する奨学金の基金として第3号基本金(奨学金基金)への寄付をお願いしたいとの申し出がありました。役員会は当初の趣旨と異なるため否決しました。

その後、学校側から役員会に第3号基本金についての理解を深めるために改めて説明や資料の配布がありました。しかし、同窓会としては、平成23年度から同窓会奨学金を創設している事や短大存続の為の寄付活用の説明がなされていない事を理由に、再度、第3号基本金への寄付については否決しました。

このように寄付について現段階では保留の形になっていますが、今後、学校側とさらに協議を継続していくことになっていきます。今後の動向につきましては、次回の会報でご報告させて頂ければと考えております。



が数知れずある。今でも時々あそこに置いて来たあれを取りに行けたらどんなに助かるだろうと思うことがしばしばある。

しかし、いつまでもそんなことを言ってる訳にもいかず、あつという間に時間は過ぎ移転の日がやってきた。慌ただしい中での選別作業と荷造り、今振り返っても何から始めどのように作業を進めたのか思い出せない。もう二度と移転などしたくはない、という思いだけはしっかり心に刷り込まれたが・・・

さて、そうして迎えた今年度、教室や廊下のあちこちに荷を解いていない段ボール箱が残る中で入学式が行われ、オリエンテーションが始まった。そして授業が始まる頃にはあれほど感じていた違和感も徐々に取り除かれ、少しずつポーツアイに馴染んでいった。住めば都とはよく言ったものである。研究室の居心地もなかなか快適で、教室も上手く使えばそれなりに使い勝手がよく、今のところ大きな混乱もなく順調に前期を終えようとしている。そして、開放的な海べりの環境も甌岩とはまた違った良さがあると思える程に、我が職場として愛し始めている自分がいる。

しかし、意外と早くこのような思いになれたのは決して環境や施設・設備のお陰だけではない。そこには卒業生の存在が大きく作用しているのである。実は、移転後こちらを訪れてくれた卒業生は恐らく100人を下らないと思う。ホームカミングデイを始め、オープンキャンパスに顔を見せてくれたり、仕事や子育ての悩みを相談に来てくれたり、頻りに訪れてくれる卒業生がいるのである。このことは卒業生もここポーツアイキャンパスを母校として認めてくれていることを意味する。このような卒業生がいたからこそ、早くにこの環境に馴染み自分の職場として愛することができるようになったのだと思う。

人を育てるのが教育であるとしたら、教育を育てるのも人であるという思いを強くした移転であった。



恩師からのメッセージ

神戸みなとじまに移転しました！ 私たちは元気です！



井上千晶

まだまだ寒さの残る3月、こしき岩キャンパスに大型のトラックがやって来て隣りに荷物運び出され、ポートアイランドキャンパスに移転しました。その頃の記憶は無我夢中だった為かほとんどない状態ですが、4月からの授業に間に合わせないといけないとの思いで職員一丸となって頑張っていたように思います。新しい場所での生活、学生のことなど、色々考えると不安になり眠れない日もあったことが思い出されます。

そして4月、明るいアリーナで行われた合同の入学式は神戸夙川学院大学の吹奏楽部の演奏で始まり、素晴らしい演奏を聴いていると「これからこの地で夙川学院短期大学は新たなスタートを切るんだ。移転して良かったと思えるように頑張ろう！」という気持ちで頑張りました。もちろん、今でも通勤途中に夙川方面を通ると懐かしいキャンパスの方を目で追ったり、キャンパスにたくさん咲いたであろう「ねじばな」を今年は見られなかったなどセンチメンタルな気分になることもありませぬ。でも、思い出に浸ってばかりはいられません。学生と一緒に前に進んでいかないとけないと思っています。今年も元気な学生が入学してきました。2回生も移転当初は戸惑いを見せていましたが、四大の教職員、学生のみなさんから暖かく受け入れていただいたおかげで、今では四大の学生の主宰するサークルに参加したり、友達の輪が大きく広がっていき生き生きと学生生活を送っているよ

夙川学院短期大学こしき岩会役員紹介

平成25・26年度 役員

- 会長 松伏純子 (S46年家政)
副会長 大前都貴子 (S51年英文)
書記 和田園子 (S57年家政)
会計 村尾恵美子 (S61年家政)
常任理事 井上雅美 (S48年児童)
藤岡利子 (S42年家政)
峯山和子 (S42年家政)
近富美子 (S43年保育)
香西康江 (S46年家政)
大西忍 (S47年家政)
佐々木眞由美 (S49年家政)
藤原恵意子 (S52年児童)
井上千晶 (S53年児童)
中井淳子 (S57年児童)
染井寿実子 (H1年家政)
西谷久美 (S60年英文)
村尾恵美子 (S61年家政)
宇和邦代 (H2年児童)
藤岡利子 (S42年家政)
佐々木眞由美 (S49年家政)
藤原恵意子 (S52年児童)
井上千晶 (S53年児童)
村尾恵美子 (S61年家政)

うです。そんな学生たちの姿を目の当たりにするとポーターキャンパスに夙川学院短期大学の根っこをしつかりとおろさないといけないと思っています。昔から「夙川の学生は型にはまらずに元気でびのびしているところが良い」と言っていたのでした。そんな夙川氣質を引き継いでいけるように学生を育てていきたいと思えます。卒業生の皆さんから「母校がなくなりさびしい」「帰る場所がない」ということを聞くと心が痛みますが、夙川学院短期大学らしさを神戸キャンパスでも出せるように頑張りますのでどうか応援して下さい。いつでも「里帰り」してきて下さいね。

新キャンパスの学生たち



齋藤尚志

本学に勤めて7年目、主に小学校の教員養成担当の齋藤尚志と申します。同窓会の皆様のご支援にはいつも感謝しております。短大は本年四月よりポーターアイランド・キャンパスへ移転し、男女共学となり、新しい一歩をふみ出しました。

ポーター・キャンパスは、清楚でシンプルなデザインの校舎、新設短大棟、空調完備の体育施設、可動しやすいい机やイス、潮の香りのする校庭、他大学との距離的近さ(学食の行き来可能)など、生活空間としても教学としてもありがたい環境です。ただ、本学が力を入れてきた音・美・体の教育活動に適した施設かという点も改善点も多く、実習前などの面談スペースも不足しています。学生の様子はというと、学生曰く「最初はみんなちょっと気合い入ってたけど、今は戻った」とのこと。「どんな

こしき岩会バザーのご案内

今年には神戸夙川学院短期大学・短期大学の大学祭に併せて「こしき岩会バザー」を開催いたします。
今回のバザーは初めて神戸ポーターアイランドキャンパスで行いますので、会員の皆様に大学をお披露目する絶好の機会となります。是非お越し下さい。
バザー当日は大学内を自由に見学して頂くこともできますのでお楽しみに!!
日時：平成25年10月13日(日)
午後12時開始
場所：神戸夙川学院大学 敷地内
夙川学院短期大学
【バザー用品ご提供のお願い】
皆様のご自宅に眠っている日用品や手作りの作品がございましたらご提供をお願い申し上げます。
※誠に勝手ではございますが、古着はご遠慮願います。
※送料は各自で負担の程お願い申し上げます。
商品受付期間：10月1日(火)～10月11日(金)
までとします
【送付先】
〒650-0045
神戸市中央区港島1-3-11
夙川学院短期大学同窓会
バザー担当者「井上」宛
TEL 078-940-1154

会報継続支援のお願い

昨年の総会を機に、再び「こしき岩会だより(会報)」を総会年(2年毎)に発行する事にいたしました。今後の財源確保を考えると、発行継続に掛かる諸経費を会員の皆様から募っていききたいと思えます。ご理解ください。
支援の方法については、次回の会報でお知らせいたしますので、ご協力の程宜しくお願いいたします。

「気合い？」とは思いますが、年頃の学生たちには、四年生学生からどのように見られるのか、どう接したらよいか、気になることがあったのでしょうか。とはいえず、短大と四年制では専門領域、生活のリズム(短大生は週五日ほぼ空き時間もなくフル回転)が違いますが、多くの学生はこれまでと同じような学生生活へ戻っています。若者がもつ環境への順応の柔軟さはさすがです。中には、サークルや学友会などで四年制学生と一緒に活動に励む人もいます。学祭も共同・協力して取り組むそうです。ぜひ遊びにいらして下さい。
ただ、移転に関係なくここ数年の傾向として、学生生活四ヶ月を経て個人差が目立つようになってきています。意欲的に学業に励み、充実した学生生活を送る学生と、朝起きられない、意欲が沸かない、自信が持てない、など自立(自律)の面に問題を抱える学生。最近の若者論が指摘するように、社会の包容力のなさが厳しい視線や過剰な期待を子どもに注ぎ、失敗や試行錯誤の機会を奪う。その結果、自己決定や自己肯定が苦手になる若者。そのような若者(学生)が目立つようになっています。
短期大学は今の時代、どのような教育を提供していくべきなのか。順調に歩み出したようにみえる短大ですが、学生たちが抱える問題や課題に丁寧に対応していく必要を感じます。今後とも引き続きご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

短大へのアクセス

JR「三ノ宮」駅
阪神・阪急・神戸市営地下鉄
「三宮」駅より
ポータルライナーに乗り換え約9分の
「みなとじま(キャンパス前)駅」下車
徒歩 約10分



住所変更のお届けをお忘れなく

こしき岩会から郵便物をお送りさせていただくと、転居先不明や旧住所表記による配達不可などで、毎回200通前後が返送されてきます。
総会のご案内や会報などの他、短期大学からのお知らせなどもお送りすることがありますので、住所変更があった場合は、必ずお知らせいただきますようお願いいたします。
また、お知り合いでこしき岩会からのご案内が届いていない方がいらっしゃいましたら、必ずご本人から住所をお知らせいただくようお願いいたします。
住所変更は、こしき岩会のホームページから簡単に行えます。
また、Eメール、FAX、はがきでのご連絡も受け付けております。その場合は、次の事項をすべてご記入ください。
①七桁の会員番号(おわかりにならない場合は卒業年月、卒業学科・専攻) ②氏名(旧姓) ③フリガナ
④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号
※こしき岩会事務局に役員は常駐しておりませんので、申し訳ございませんが電話でのご連絡はお受けできません。また、短期大学事務局にお電話されますと、業務の妨げとなりご迷惑をおかけいたしますので、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

編集後記

今年の4月から夙川学院短期大学は、西宮市甕岩町から神戸市のポーターアイランドキャンパスへ移転しました。会員の皆様は短大の現状をお知らせするために「こしき岩会だより」の臨時号を発刊することになりました。発刊にあたり寄稿してくださいました先生方のご協力に対し深く感謝いたします。夙川学院短期大学の今後の発展を願ひ、会員の皆様と共に見守ってまいります。